

全森建

第182号

令和8年8月

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2
山王グランドビル3階一般社団法人
全国森林土木建設業協会発行 江坂文寿
責任者
TEL.03-3581-3336
FAX.03-3581-3341

令和8年度 定時総会



山藤会長挨拶

「全森建」では、6月18日(木)、東京都内の霞山会館「霞山の間」において、令和8年度定時総会を開催しました。

ご来賓として小坂善太郎林野庁長官をはじめ林野庁幹部の皆様、林業関係団体からは(一社)日本林業協会の島田泰助会長、(一社)日本林業土木連合会の堂本整専務理事、(一社)日本治山治水協会の津元頼光専務理事にご臨席いただきました。

令和8年度
「全森建」
定時総会を開催



来賓祝辞
島田泰助 (一社) 日本林業協会会長



来賓祝辞
小坂善太郎 林野庁長官



閉会宣言
牟田正明 副会長



閉会宣言
里谷光弘 副会長

里谷副会長の開会の言葉により開会し、山藤会長の挨拶、続いて小坂林野庁長官、島田日本林業協会会長にそれぞれご祝辞をいただきました。

その後、議事に移り、定時総会成立の宣言の後、定款に則り山藤会長を議長に選任し、上程された「令和7年度決算について」、「令和8年度会費の賦課及び納入の方法について」、「決議について」及び「役員選任について」の各議案について、それぞれ原案のとおり承認、決議されました。

また、先に開催された理事会で承認された「令和8年度事業計画及び収支予算」が報告されました。最後に牟田副会長の閉会の言葉により、令和8年度定時総会を閉会しました。

会長挨拶

(一社) 全国森林土木建設業協会会長
山藤浩一

令和8年度定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、総会の開催についてご

案内しましたところ、会員の皆様には全国各地からご参集いただき、誠にありがとうございます。

また、公務ご多用にもかかわらず、来賓として小坂林野庁長官をはじめ林野庁幹部の皆様、島田日本林業協会会長をはじめ関係団体の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

それから、先ほどの表彰式において栄えある賞を受賞された皆様には、日頃からのご尽力に深く敬意を表する次第です。

皆様には日頃より全森建の円滑な運営にご理解、ご協力をいただいておりますことに対し、改めて御礼申し上げます。

さて、昨年も大雨、台風、地震、山火事、大雪などにより、全国各地で尊い人命や貴重な財産が失われました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

このような激甚な災害の発生などを踏まえ、今年度からの5年間の計画期間とする「第1次国土強靱化実施中期計画」が策定され、令和7年度補正予算と令和8年度当初予算において所要の予算を確保いただいたところでです。

これらは林野庁のご尽力はもと

より、森林整備・治山事業促進議員連盟を中心とする関係国会議員の先生方による力強いご支援、また、各協会における関係者への働きかけの成果であり、改めて御礼申し上げます。

今後、私どもには、これらの予算を活用した円滑な事業の実施を通じて、地域の安全・安心の担い手等としての役割を果たしていくことが求められます。一方、森林土木事業を地域で支える企業として、働き方改革を推進しつつ、事業の担い手を育成・確保しながら、安定的な経営や工事の品質確保を図っていく必要があります。

このため、資材価格や人件費が高騰する状況下でも事業量が確保されるよう、令和9年度以降の林野公共予算を増額・確保いただくことが必要です。また、厳しい施工条件下でも適正な利潤が確保できるように、適切な設計・積算や歩掛の設定、適正な工期の設定、施工時期の平準化、現場の生産性の向上などについて、さらに進めていただくことが重要と考えます。

私ども全森建といたしまして、この後の総会で決議いただいく要望書に基づき関係方面に要請活動を行うなど、林野公共予算の拡充や、厳しい施工実態を反映し

た円滑な森林土木事業の推進に向けて、さらに取り組んで参ることとしていきます。会員の皆様におかれましても、引き続きご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

本日の総会におきましては、これらの活動を進めて行くため、令和7年度の決算、要望書の決議、役員選任などの議案についてご審議をお願いしたいと存じます。

結びに、会員の皆様、ご来賓の皆様のご健勝、ご発展をお祈り申し上げ、定時総会の開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和8年度 事業計画

1 基本方針

近年、地球温暖化の影響等による集中豪雨等の頻発に伴う山腹崩壊や土石流、流木、風倒木等により、多くの貴重な人命・財産が失われるなど甚大な被害が生じている。

また、森林資源の循環利用を通

じた林業・木材産業の成長産業化、2050年ネット・ゼロの実現等を図るため、主伐後の着実な再造林や間伐等の森林整備、国産材の安定供給等において基盤となる強靱で災害に強い林道等路網整備の一層の推進が急務となっている。

このため、令和8年度スタートの「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、総合的な治山対策と森林整備対策により人命・財産の被害を防止・最小化するとともに、林業・木材産業の持続的発展等による地域の活性化等を図っていく必要がある。ついては、これら施策の実現に必要な林野公共事業予算の安定的・持続的な確保と拡充・強化が図られるよう、各協（議）会や林業関係団体等と連携しながら要請活動等を展開する。

さらに、当協会の会員企業は、森林土木工事の品質確保等これら林野公共事業の円滑な実施を通じて、引き続き地域の安全・安心を図り、森林・林業の基盤整備の担い手や地域の雇用の受皿となることが求められている。働き方改革等にも対応しながら安定的に企業経営を継続していくためには、厳しい施工条件下でも適正な利潤と事業の担い手の確保がなされることが重要である。

このため、森林土木工事の現場実態を踏まえた設計・積算の見直し、工期の設定、施工時期の平準化、ICT活用の推進、2次製品の利用等に向けて、林野庁、都道府県、関係団体等における取組とも連携しながら各種活動を進める。

2 活動計画

活動に当たっては、各協（議）会の厳しい運営状況も踏まえ、経費の節減と効率的な事業運営を図る。

(1) 定時総会
協会の活動方針等を決定するため、6月に東京都内で開催する。

(2) 正・副会長会議及び理事会
協会の円滑な運営に向けた活動方針等を討議するため、東京都内で原則2回（6月・1月）開催する。

(3) 常勤役員・事務局長等会議
協会活動の円滑な実施に向けた情報交換を図るため、原則として1月の正・副会長会議と理事会の開催後に行う。

(4) 表彰
森林土木事業の発展、技術の

向上、労働安全の確保等に功績のあった方々に対して、各協（議）会からの推薦に基づき、表彰候補者の審査、表彰行事の開催等を行う。

(5) 技術・労働委員会

森林土木事業の適切な施工及び工事の品質並びに適正な利潤の確保、働き方改革への対応を通じた担い手の確保等に資するよう、各ブロックから提示された設計・積算や歩掛等に関する改善要望事項をとりまとめ、林野庁担当者との意見交換等により、これらへの対応を要請するとともに、林野庁の見解を整理いただいた上で、会員への情報提供を行う。

森林土木事業における労働安全意識の向上と、国民各層の森林土木事業への理解の醸成を図るため、労働安全ポスターを作成することとし、その原画となる写真を会員等から募集し、本委員会において審査、選考を行う。

(6) 研修

会員の森林土木事業に係る技術の向上や労働安全の確保等を図るため、森林土木総合技術研

修（森林分野のCPDと土木施工管理分野のCPDSの対象学習プログラムとして実施）について、研修内容の充実を図りながら企画・実施する。

また、地形、地質等地域ごとの多様な施工条件に応じた技術の向上等を図るため、各協（議）会が実施する各種研修等の経費の一部を助成する。

(7) 「全森建」福祉共済事業

「全森建」福祉共済事業については、平成7年の創設以来、労働災害時等の負担軽減等会員の福利厚生増進を図るため、その円滑な運営等に努めてきたところである。しかしながら、加入者の減少傾向が続いていることから、事業の安定的な維持を図っていくため、各協（議）会の協力を得ながら、加入促進等に努める。

(8) 広報・普及活動

① 会報は引き続き年4回（原則として5、8、10、1月）の発行とし、協会活動や森林土木事業に係る予算、設計・積算、技術向上等に関する情報、「地方協会だより」欄による各協（議）会の活動状況な

ど、各協（議）会活動に資する幅広い情報の提供を図る。

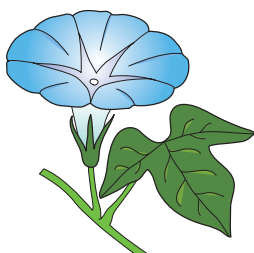
② 予算、設計・積算、林野庁による各種調査、森林・林業・建設産業に係る施策等について、メールにより迅速な情報提供を図る。

③ 森林土木事業に係る労働安全意識の向上や国民各層の森林土木事業への理解の醸成を図るため、労働安全ポスターの制作・配布等を行う。

④ ICT施工等新技術の活用による森林土木事業における生産性の向上等に係る情報収集や普及活動に努める。

(9) その他の活動

中央での各種会議、ブロック会議、各協（議）会の総会等に積極的に参加し、中央と地域の諸情勢の把握や情報交換等を行うことにより、各種施策への反映に努める。



令和8年度 第1回正・副会長会議 及び第2回理事会を 開催

定時総会に先立ち、6月18日午後2時から霞山会館「桃源の間」において令和8年度第1回正・副会長会議を、引き続き午後3時から霞山会館「牡丹の間」において令和8年度第2回理事会をそれぞれ開催し、定時総会に付議する承認事項、報告事項等についての審議が行われ、全て原案どおり了承されました。



第1回正・副会長会議

定時総会閉会后、役員による令和8年度第3回理事会を開催し、幌村司副会長の後任として総会で新たに理事となられた三宅正浩氏が選任されました。

その後、定時総会会場に留まっていたいただいた総会参加者の皆さんへ、新役員の報告が行われました。

新役員が選定される — 副会長が交代 —



第2回理事会

(一社)全国森林土木建設業協会 新役員名簿

令和8年6月18日

役 職	氏 名	所属協（議）会	ブロック	備 考
会 長	山 藤 浩 一	群馬県森林土木建設協会	関東・甲静	
副 会 長	三 宅 正 浩	(一社)北海道森林土木建設業協会	北海道・東北	新任
〃	里 谷 光 弘	石川県森林土木協会	中 部	
〃	西 覚 嗣	三重県森林土木建設協会	近 畿	
〃	本 多 茂	岡山県森林土木建設協会	中国・四国	
〃	牟 田 正 明	佐賀県治山林道協会	九 州	
理 事	紀 室 裕 哉	岩手県森林土木建設協会	北海道・東北	
〃	石 川 俊 幸	福島県森林土木建設業協会	北海道・東北	
〃	齊 藤 公志郎	埼玉県森林土木建設業協会	関東・甲静	
〃	上 坂 健 一	東京都森林土木建設業協会	関東・甲静	
〃	鈴 木 秀 城	(一社)新潟県建設業協会 農地農林委員会	中 部	
〃	高 平 公 輔	(一社)富山県建設業協会 林務委員会	中 部	
〃	海 邊 俊 行	和歌山県林業土木振興協議会	近 畿	
〃	山 根 敏 樹	鳥取県森林土木協会	中国・四国	
〃	西 野 精 晃	(一社)高知県森林土木協会	中国・四国	
〃	黒 木 繁 人	宮崎県森林土木協会	九 州	
〃	森 田 盛 春	沖縄県森林土木協議会	九 州	
〃	津 元 頼 光	(一社)日本治山治水協会	中 央	
専務理事	江 坂 文 寿	(一社)全国森林土木建設業協会	中 央	
監 事	丹 澤 淳 人	(一社)山梨県建設業協会 林務部会	関東・甲静	
〃	大 山 龍 彦	(一社)岐阜県建設業協会 林政部会	中 部	
〃	植 崎 茂	税理士法人旭総合事務所 税理士	中 央	

令和 8 年度 「全森建」表彰式を 挙行

定時総会に先立ち、6 月 18 日午後 4 時 10 分から霞山会館「霞山の間」において令和 8 年度「全森建」表彰式を執り行いました。

永年にわたり森林土木事業の発展等に功績のあった方に対し、林野庁長官表彰として小坂林野庁長官から、また、同様の功績のあった方々、労働安全の確保等に功績のあった団体や事業場、個人に対し、山藤会長から全森建会長表彰状が授与されました。当日、ご都合により表彰式に出席なさらなかった方々を含め、受賞された皆様は次のとおりです。



受賞者（小坂長官、山藤会長を囲んで）

I 林野庁長官表彰受賞者

氏 名	所 属 協（議）会
石 川 俊 幸	福島県森林土木建設業協会

II 全森建会長表彰受賞者

氏 名	所 属 協（議）会
三 宅 計 正	岡山県森林土木建設協会
小 牧 隆	鹿児島県森林土木協会

III 全森建会長表彰受賞者（労働安全部門）

1 団体の部

団 体 名	代 表 者 氏 名	所 属 協（議）会
塚越土建株式会社	代表取締役 塚越 洋	群馬県森林土木建設協会
井下建設有限会社	代表取締役 井下 哲	徳島県治山林道協会

2 事業場の部

事 業 場 名	代 表 者 氏 名	所 属 協（議）会
江永地区 緊急予防治山工事	株式会社 長崎地研 代表取締役 村山 泰治	長崎県森林土木建設業協会

3 個人の部

氏 名	勤務先・職名等	所 属 協（議）会
深 沢 秀 樹	株式会社 フカサワ 代表取締役	（一社）山梨県建設業協会 林務部会

意見交換会の開催

定時総会の閉会後に霞山会館「牡丹の間」において意見交換会を開催したところ、多くの国会議員の先生方や林野庁幹部の皆様にかけつけていただき、盛大で華やかな会となりました。

林野庁、関係国会議員に要望書を提出

定期総会翌日の6月19日、山藤会長は林野庁長官をはじめ林野庁の幹部や農林水産省政務三役、関係国会議員を訪問し、定期総会において決議された要望書を手交のうえ要望活動を行いました。

◎ 要望書

私ども、「緑の社会資本」として

の森林の適切な整備・保全を通じて、持続可能でより良い社会の実現を担う建設企業の集まりである一般社団法人全国森林土木建設業協会においては、令和八年度定時総会において次のとおり決議いたしました。

つきましては、これらの実現に向け特段のご配慮を賜りますよう、ここに強く要望いたします。

令和八年六月十八日

一般社団法人

全国森林土木建設業協会

会長 山藤浩一

決議

森林の有する多面的機能は国民生活に様々な恩恵をもたらすとともに、国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成にも大きく貢献している。そのような中で、気候変動の影響により激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震等の発生を見据えた森林の防災・保水機能の高度発揮による「緑の国土強靱化」や、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を確

立し、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献していくことが喫緊の課題となっている。

このため、令和七年度補正予算及び令和八年度当初予算において「第一次国土強靱化実施中期計画」等に基づく治山対策及び路網整備を含めた森林整備対策をはじめ、森林吸収源対策、林業・木材産業の成長産業化等に係る基盤整備を含めた所要の予算を確保いたしたいところである。

一方、森林の多面的機能の持続的な発揮を図っていくためには、これら所要の予算を増額、確保いただくとともに、これらの事業をそれぞれの地域で支える建設企業の安定的な経営や担い手の確保、これらを通じた森林土木工事の品質確保が図られる必要がある。ついては、これらの課題に対応するため、左記に示す事項の実現を強く要望する。

記

一、「第一次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、資材価格や人件費の高騰に対応した十分な予算を別枠で確実に確保した上で、森林整備・治

山対策の計画的かつ強力な推進

二、大雨や短時間強雨の発生頻度の増加、大規模地震等による山地災害の激甚化・頻発化に対応した流域治水とも連携した治山対策、国産材の供給体制の強化等に対応した強靱で災害に強い幹線林道等路網の整備に必要な令和九年度当初予算等の拡充

三、梅雨前線や台風に伴う豪雨災害、林野火災、大雪等による山腹崩壊、土石流、流木等被害や林道被害等の早期復旧に必要な災害復旧関係予算の確保

四、急峻で狭隘、遠隔地といった厳しい施工条件下にある森林土木事業の実態や賃上げ・資材価格の高騰など最新の実勢価格を反映した設計・積算標準歩掛の適用が困難な場合の見積りによる積算、着工後の施工実態を踏まえた柔軟な設計変更等を通じた適正な利潤の確保に向けた取組の強化

五、働き方改革を進めるための

施工条件等に応じた適正な工期の設定、早期発注や在庫債務負担行為、余裕期間制度の積極的な活用等による施工時期の平準化、プレキャスト製品の活用など省力化、安全施工につながる工法や中・小規模工事へのICT施工の導入促進等による生産性向上に向けた取組の強化

六、地方自治体等との災害防止協定の締結等による地域の安全・安心を支える建設企業と



山藤会長による小坂林野庁長官への要望

としての山地防災パトロール等の地域貢献活動、技術者・技能者の知識・技術・技能の向上を促進するための継続教育に係る取組等の総合評価落札方式等入札における適切な評価

七、地域社会を担う多様な人材の確保及び地域における魅力ある就業機会の創出の一環として、森林土木事業における週休二日制や育児休暇の定着等による若者等の就業を促進する環境の整備

八、リスクアセスメントの普及定着等による転落・墜落等重大災害の撲滅、緊急時等の山間部での通信手段の確保、熱中症対策を含めた安全衛生経費や安全で円滑な工事施工のための仮設経費等の適切な積算、休日等が確保された適切な工期の設定等による建設工事従事者の安全及び健康の確保並びに福祉の向上

右決議する

令和八年六月十八日

一般社団法人

全国森林土木建設業協会

「森林整備・治山事業促進議員連盟」の総会が開催

5月26日(火)、自民党本部5階ブロック第五会議室において、山口俊一議連会長をはじめとする国會議員31名(代理出席を含め約77名)のご出席のもと、森林整備・治山事業促進議員連盟の総会が開催されました。

山口議連会長の挨拶の後、中谷元顧問、宮下一郎総合農林政策調査会長、田野瀬太道林政対策委員長、山下雄平農林水産副大臣からの激励の言葉がありました。全森建ほか関係団体に対し発言を求められ、山藤会長からは「激甚化する山地災害への対応のため、治山事業と森林整備事業の推進により、「緑の国土強靱化」を進めていくことが重要となっています。これから事業の円滑な実施を通じて、今後とも地域の守り手として、役割を果たすため、適正な利潤と事業の担い手が確保され、将来にわたって私ども企業経営が見通せるように、また、災害発生時にも対応できる工事施工能力の恒常的な



山口会長による挨拶

維持のため、林野公共予算の増額・確保に向けまして、引き続き強力な支援をお願いしたい」旨の要請を行いました。

次に、林野庁の齋藤健一森林整備部長から、「林野公共関係予算について」、「林野公共事業を取り巻く情勢」、「林野公共事業等における取組」、「令和9年度予算編成に向けて」について説明されました。

その後、出席した国會議員の先生方による活発な意見交換が行われ、最後に次の項目からなる「令



中谷顧問による挨拶

和九年度林野公共事業予算に関する決議」が満場一致で採択されました。

一、気候変動による線状降水帯の発生など近年の度重なる豪雨、大規模な地震や林野火災等による被害を受けた荒廃山地の復旧対策を着実に進めるとともに、事前防災・減災対策を含め、山地災害で得られた教訓等を踏まえた短期間で集中的に地域の安全性を高める取組など、治山対策を強力



山下農林水産副大臣による挨拶

に進めるため、治山事業予算の拡充を図ること。

一、林業適地における森林資源の循環利用を進めるとともに、花粉発生源対策の加速化に資するよう、強靱で災害に強い林道の整備、主伐後の確実な再造林や間伐等を強力に推進するとともに、林野火災・病虫獣害への対策を含め、森林整備事業予算の拡充を図ること。



山藤会長による要請

一、森林整備・治山対策の加速化・深化を図っていく必要があることから、「第一次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、資材高騰や人件費増に対応した十分な予算を別枠で確実に確保した上で、森林整備・治山対策を計画的かつ強力に推進すること。

一、大規模災害が発生した際の体制強化や現場での予防・復旧対策の確実な実施等のため、森林管理局等における現



決議に向けた議論の様子

場技術を有する人材の育成・確保を図ること。また、歩掛の見直しや適正な工期の設定など、林野公共事業の円滑な実施に向けた取組を推進すること。

一、林野公共事業の推進を通じた山村地域の振興を図るとともに、生産基盤となる林道網と一体的に、林業機械、森林資源情報などの整備、人材育成など担い手の確保、若者・高齢者等にも働きやすく、安

全で魅力ある産業となるためのスマート林業技術の実装を推進すること。

一、森林環境譲与税は、自然的・社会的条件が不利な森林の整備を推進するという新たな需要に対応した、地方公共団体にとって欠くことのできない財源である。一方、これとは別途、国土強靱化、森林資源の循環利用の基盤となる林野公共事業予算を拡充し、これらを両輪として政策効果の実現を図ること。

右、決議する。

令和八年五月二十六日

自由民主党森林整備・

治山事業促進議員連盟

6月23日(木)には、山口議連会長をはじめ多くの先生方が財務省を訪れ、片山さつき財務大臣に対して決議文を手交し、林野公共事業予算の安定的な確保等に向けた要望活動が行われました。全森建としても、今後とも関係団体と連携し、議連の先生方のご支援をいただきながら、令和9年度予算等の確保に向けてさらに取り組んでまいります。

林野庁幹部人事異動

令和8年7月31日付、次のとおり異動がありました。

◇治山課長

赤羽 元

(内閣府本府

地方創生推進室参事官)

◇関東森林管理局長

増井 国光

(大臣官房付)

◇国有林野部付

木下 仁

(森林整備センター審議役)

令和8年8月6日付、次のとおり異動がありました。

◇長 官

長崎屋圭太

(国有林野部長)

◇次 長

清水浩太郎

(林政部長)

◇林政部長

望月 健司

(文書課長)

◇国有林野部長

木下 仁

(国有林野部付)

これからの主な行事予定

令和8年

○10月1日(木)、2日(金)

北海道・東北ブロック会議

(岩手県大船渡市)

○10月15日(木)

中部ブロック会議

(新潟県新潟市)

○10月22日(木)

関東甲信ブロック会議

(栃木県那須塩原市)

○11月12日(木)

九州ブロック会議

(宮崎県宮崎市)

○11月26日(木)

中・四国ブロック会議

(高知県高知市)

○11月9日(月)

技術・労働委員会

(東京都・千代田区)

○11月18日(水)

2026治山・林道のつどい

(東京都・千代田区)

令和9年

○1月28日(木)

令和8年度第2回正・副会長会

議、第4回理事会、常勤役員・事務局長等会議

(東京都・千代田区)

編集後記

7月に入り梅雨明けとともに真夏へと突入して、熱中症対策が呼びかけられております。最近「酷暑日」と言う言葉を耳にしますがこれは日本気象協会独自の名称であったようですが、気象庁は今年4月最高気温40℃以上の日を「酷暑日」と正式に命名しました。これは、従来の「真夏日(30℃以上)」、「猛暑日(35℃以上)」では、近年増加している極端な高温の危険性を十分に伝えきれないことを受けた措置だそうです。今年の夏も高温が予想されており、酷暑日が予報された場合には特に体調管理に気を付けたいものです。

